

エコアクション 21 2022 年度環境経営レポート



(試用期間：2022 年 11 月 1 日～2023 年 1 月 31 日)

 **株式会社ユウコウ建設**

発行日：2023 年 2 月 15 日

目次

1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	2
3. 実施体制図	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績 / 評価	6
7. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 及び次年度の取り組み	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示の記録	9

1.組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

【事業所名】 株式会社ユウコウ建設
【代表者名】 代表取締役 渡邊 勇吉

2. 所在地

【本 社】 東京都八王子市大和田町 5-8-5
【資材置場】 東京都八王子市丹木 1-618-7

3. 環境管理担当者氏名及び担当者連絡先

【責任者】 渡邊 勇吉
【副責任者】 岩佐 伸一
【担当者】 志谷 蓉明
【T E L】 042-656-1255
【F A X】 042-656-1256
【E-Mail】 yukou@yukou.co.jp

4. 事業活動の内容

【建設業許可番号】 東京都知事 許可（特－2）第 134387 号
【許可の有効期限】 令和 2 年 4 月 5 日～令和 7 年 4 月 4 日
・土木工事業 ・とび・土木工事業 ・石工事業 ・舗装工事業 ・水道施設工事業
【産業廃棄物収集運搬業】 東京都知事 許可 第 13-00-073785 号
【許可の有効期限】 令和 2 年 12 月 8 日～令和 7 年 12 月 7 日
・廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、
がれき類（以上 7 種類）
※現在、産業廃棄物収集運搬は行っておりません。

5. 設立年月日・資本金

【設立年月日】 平成 3 年 6 月 13 日
【資 本 金】 3 千万円

6. 事業の規模

【売 上 高】 3.8 億円
【事業年度】 6 月～5 月
【従業員数】 7 名
【敷地面積】 ◆本社： 153.6 m² ◆資材置場： 226 m²

2. 環境経営方針

株 式 会 社 ユ ウ コ ウ 建 設 環 境 経 営 方 針

<基本理念>

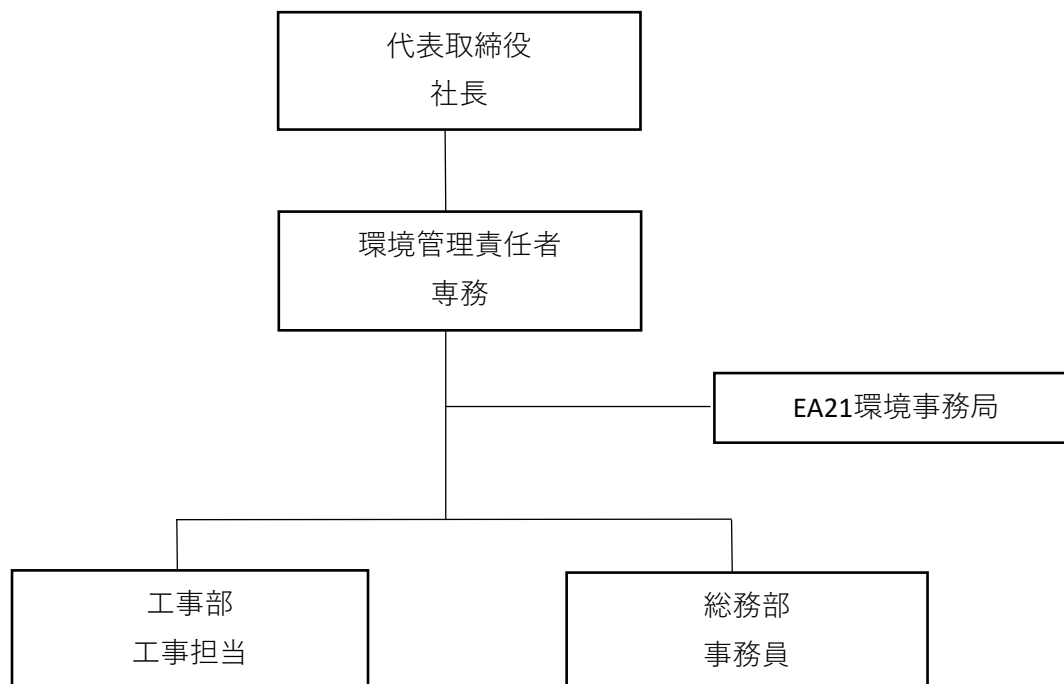
当社は、公共工事を中心として事業を行っています。この活動により、地球環境に少なからず影響を与えている事を踏まえ、建設業者として活動による直接・間接的の環境負荷低減を目指し、人と地球の未来を見つめ環境保全へ向けて積極的に取組みを行っていきます。

<行動指針>

1. 事業活動を踏まえ、以下の項目を取組みます。
 - ① 省資源、省エネルギーの推進（燃料・電気）
 - ② 二酸化炭素(CO2)排出量、削減の推進により環境負荷の低減に努める
 - ③ 廃棄物の削減と適正処理
 - ④ 水資源の節水
 - ⑤ 環境関連の法規制等を遵守します
 - ⑥ 環境経営の継続的改善を進めます
2. 全従業員がこの経営方針を理解し、活動するように周知する。

制定日：2022 年 11 月 1 日
株式会社 ユウコウ建設
代表取締役 渡邊 勇吉

3.実施体制図



環境経営システム役割・責任・権限

代表取締役	・ 環境経営に関する統括責任。 ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。 ・ 経営における課題とチャンスの明確化。 ・ 環境経営レポートの承認。 ・ 環境管理責任者の任命。 ・ 運用経営資源を用意する。 ・ 環境経営方針の作成をする。
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理。 ・ 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。 ・ 環境経営レポートの確認。 ・ 社内の環境に関する要望に対し対応を行う。
各部門責任者	・ 環境経営システムを部門内従業員へ周知・徹底する。 ・ 環境経営計画に取組みを実施し、必要な記録を報告する。
EA21環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組みを実施する。 ・ 問題点の発見、是正、予防処置

4.環境経営目標

2022年度 環境経営目標

作成日 2022/11/10

大項目	サイト	項目名	単位	2021年度 基準年	2022年度 2022.6~2023.5	2022年度 試用期間3カ月 2022.11~2023.01	2023年度 2023.6~2024.5	2024年度 2024.6~2025.5
二酸化炭素削減		二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	31,429 (4,654)	31,115 1.0%	4,607 1.0%	30,801 2.0%	30,486 3.0%
	事務所	①電力使用量の削減	kWh	11,332 (2,748)	11,219 1.0%	2,721 1.0%	11,105 2.0%	10,992 3.0%
	共通	①ガソリン使用量の削減	L	4,585 (1,202)	4,540 1.0%	1,190 1.0%	4,494 2.0%	4,448 3.0%
	現場	①電力使用量の削減	kWh	4,234 (253)	4,192 1.0%	250 1.0%	4,149 2.0%	4,107 3.0%
		②軽油使用量の削減	L	5,293 (185)	5,241 1.0%	183 1.0%	5,188 2.0%	5,135 3.0%
		①産業廃棄物の削減	kg	2,155,855 (30,580)	処理ルールに従い処理	処理ルールに従い処理	処理ルールに従い処理	処理ルールに従い処理
		②事業系一般廃棄物の削減	kg	120 (30)	118.8 1.0%	29.7 1.0%	117.6 2.0%	116.4 3.0%
節水	事務所	水使用量の削減	m³	70 (26)	69 1.0%	26 1.0%	69 2.0%	68 3.0%
節水	現場	水使用量の削減	m³	74 (5)	73.3 1.0%	5.0 1.0%	72.5 2.0%	71.8 3.0%
建設廃棄物 再資源化		再資源化率の向上	%	100 (100)	設計数量内での対処増減に対し適宜対応	設計数量内での対処増減に対し適宜対応	設計数量内での対処増減に対し適宜対応	設計数量内での対処増減に対し適宜対応

備考： 購入電力(事務所) CO2排出係数 = 0.464 Kg-CO2/kWh
 購入電力(現場) CO2排出係数 = 0.443 Kg-CO2/kWh

削減率

注釈： 2021年度基準年について () 内の数値は2021.11~2022.01までの期間を表記
 小数点以下四捨五入をしている

5.環境経営計画

環境経営目標達成への取組み項目

大項目	サイト	項目名	単位	2021年度 基準年	達成手段	担当者	日程
二酸化炭素削減		二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	31,429	下記取組による		
	事務所	①電力使用量の削減	k Wh	11,332	①社内の不要照明の消灯 ②エアコンの設定温度 夏28℃、冬20℃ AI機能を活用する ③PCスリープモードの設定 ④OA機器の省電力設定	事務員	毎日
	共通	①ガソリン使用量の削減	L	4,585	①燃費を調べる ②エコドライブを実施する ③タイヤの空気圧をチェック	全社員	毎日
	現場	①電力使用量の削減	k Wh	4,234	①離席時の消灯 ②エアコンの設定温度 夏28℃、冬20℃ ③PCスリープモードの設定 ④OA機器の省電力設定	各社員	毎日
		②軽油使用量の削減	L	5,293	①アイドリングストップ（ダンプトラック等） ②エアコン使用制限 ③不使用時にエンジン停止（建設機械）	各社員	毎日
廃棄物削減		①産業廃棄物の削減	kg	2,155,855	①分別を徹底する ②資源物と廃棄物を仕分ける	各社員	毎日
		②事業系一般廃棄物の削減	kg	120	①分別を徹底する ②裏紙使用で紙使用量の削減 ③シュレッダー処理紙のリサイクル化	全社員	毎日
節水		水使用量の削減	m ³	144	①水道はこまめに止める ②節水に努める	全社員	毎日
建設廃棄物 再資源化		再資源化率の向上	%	100	①分別を徹底する ②再資源化できる処理業者を選択する ③マニフェストにて適正管理	各社員	受付時

6.環境経営目標の実績/評価

作成日

2023/2/1

大項目	サイト	項目名	単位	2021年度 基準期間 (2021.11~2022.01)	2022年度 試用期間3カ月 (2022.11~2023.01)	2022年度 試用期間3カ月 (2022.11~2023.01)実績	達成 状況	評価
二酸化炭素削減		二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	4,654	4,607 1.0%	13,255 287.7%	×	下記内容により未達成となる
	事務所	①電力使用量の削減	k Wh	2,748	2,721 1.0%	2,590 95.2%	○	
	共通	①ガソリン使用量の削減	L	1,202	1,190 1.0%	1,256 105.5%	×	昨年基準時より遠い現場の為、その分ガソリン使用量が増加した。
	現場	①電力使用量の削減	k Wh	253	250 1.0%	2,491 994.5%	×	
		②軽油使用量の削減	L	185	183 1.0%	3,115 1700.7%	×	昨年基準時では、現場の事前調査段階の為、使用量が少ないが試用期間内では、施工段階この結果となる。
		①産業廃棄物の適正管理	t	30,580	処理ルールに従い処理	処理ルールに従い処理 (1,853,400)	-	処理ルールに従い処理 マニフェスト管理等で実施
		②事業系一般廃棄物の削減	kg	30	29.7 1.0%	21.3 71.7%	○	資源の分別、OA紙の再利用を進めた結果で削減となった。
節水	事務所	水使用量の削減	m³	26	25.7 1.0%	23.0 89.4%	○	本社の設備より漏水があったが、目標は達成した。
節水	現場	水使用量の削減	m³	5	4.95 1.0%	13.00 262.6%	×	昨年基準時は、1現場事務所のみで今回は2現場事務所が稼働していた。
建設廃棄物再資源化		再資源化率の向上	%	100	設計数量内での対処増減に対し適宜対応	設計数量内での対処増減に対し適宜対応	○	設計数量内での対処増減に対し適宜対応

備考： 購入電力(事務所) CO2排出係数 = 0.464 Kg-CO2/kWh

購入電力(現場) CO2排出係数 = 0.443 Kg-CO2/kWh

削減率

産業廃棄物の適正管理のカッコ内の数字は実績値を記載している。

7.環境経営計画の実績・取組結果とその評価、及び次年度の取り組み

環境経営目標達成への取組み結果

大項目	サイト	項目名	単位	2021年度 基準年	達成手段	実施結果	評価	取組み
二酸化炭素削減		二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	31,429	下記取組による			
	事務所	①電力使用量の削減	k Wh	11,332	①社内の不要照明の消灯 ②エアコンの設定温度 夏28℃、冬20℃ AI機能を活用する ③PCスリープモードの設定 ④OA機器の省電力設定	○	すべてを実施できていた。	継続運用
	共通	①ガソリン使用量の削減	L	4,585	①燃費を調べる ②エコドライブを実施する ③タイヤの空気圧をチェック	○	エコドライブについての研修を行おうと考える。	継続運用
	現場	①電力使用量の削減	k Wh	4,234	①離席時の消灯 ②エアコンの設定温度 夏28℃、冬20℃ ③PCスリープモードの設定 ④OA機器の省電力設定	△	エアコンの設定温度はできなかった。	継続運用
		②軽油使用量の削減	L	5,293	①アイドリングストップ（ダンプロック等） ②エアコン使用制限 ③不使用時にエンジン停止（建設機械）	△	自社運用に関しては行っているが、施工作業中については時と場合により実施していた。	継続運用
廃棄物削減		①産業廃棄物の削減	kg	2,155,855	①分別を徹底する ②資源物と廃棄物を仕分ける	○	資源物と廃棄物については、教育が必要と考える。	継続運用
		②事業系一般廃棄物の削減	kg	120	①分別を徹底する ②裏紙使用で紙使用量の削減 ③シュレッダー処理紙のリサイクル化	○	もともと実施していたので問題なく運用できている。	継続運用
節水		水使用量の削減	m³	144	①水道はこまめに止める ②節水に努める	○	もともと実施していたので問題なく運用できている。	継続運用
建設廃棄物再資源化		再資源化率の向上	%	100	①分別を徹底する ②再資源化できる処理業者を選択する ③マニフェストにて適正管理	○	もともと実施していたので問題なく運用できている。	継続運用

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

法規制等名称	遵守状況 確認・評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	○
消防法	○
道路運送車両法	○
道路交通法	○
八王子市下水道条例	○
八王子市廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例)	○
振動規制法	○
騒音規制法	○
労働安全衛生法	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	○
グリーン購入法 (環境物品等の調達の推進に関する基本方針)	○

環境関連法規への違反・訴訟はありません。

9.代表者による全体の評価と見直し・指示の記録

作成日 2023年 2月 7日

見直しのための情報				情報提供者
見直し概要	見直し実施区分	年度	定期	
	情報提供日	2023年	2月 6日	
情報項目 及び 評価・課題	1.環境経営目標の達成状況			
	事務所・現場の利用量の精査結果 試用期間内の運用では昨年度の3ヶ月の状況次第では達成には程遠かった。			
	2.環境経営計画の実施状況			
	事務所では、計画通りに実施を行っていました。現場では、検査月と重なっていることもあり暖房の稼働時間及びOA機器のフル稼働をしていたが、計画内容に沿って実施をした。			
	3.問題点の是正処置・予防処置の結果			
	試用期間3ヶ月では是正すべきとは判断できない。			
	4.外部からの苦情・要望に対する結果			
	特になし			
	5.環境経営システム(実施体制を含む)の有効性及び妥当性			
総評	経営計画に沿って実施した結果を社員へフィードバックすることにより、関心を強めていきたい			
	経営目標に関しては、現場によって行っていることが違うのと工事進捗によって全然変わっていく為、試用期間3ヶ月での達成はきびしいと考える。 目標より達成はできなかったが、思っていた以上にガソリン使用量は増加していない為、エコドライブ運転したと思われる。 社員の意識浸透が進むよう教育訓練等行っていく。			

代表者(経営層)による見直し・指示の内容			代表者
見直し者	代表取締役社長		
見直し実施日	2023年 2月 6日		
見直し変更の必要性への言及	代表者による指示内容		
1)環境経営方針 (必要) (不要)	現状通りとする。		
2)環境経営目標及び経営計画 (必要) (不要)	現状通りとする。		
3)j実施体制 (必要) (不要)	現状通りとする。		
4)社会・取引先・法律等への対応 (必要) (不要)	現状通りとする。		
5)システムのその他の要素 (必要) (不要)	現状通りとする。		